

□議員名：中島好人

### 1 子育て支援について

論点	宇部市でも9月から実施される第2子以降の保育料が無償化される。本市も無償化することについて
回答	子供を保育園に預けていない世帯もある。本市では、小学校、中学校入学時に制限を設けず、祝い金を出している。

論点	美祢市では、今年度から3歳児の副食費の無料としている。本市でも無料にしてはどうか。
回答	前回の保育料無償化同様で、子育て支援については、なるべく多くの世帯を対象とした支援策を講じていきたい。

### 2 学校給食費の無償化について

論点	子供の貧困は7人に1人と言われ、子育て世代にとっては学校給食の無償化は切実な要求となっている。萩市では、小学校、中学校と無料化した。本市でも実施したらどうか。
回答	就学援助費の方が25%程度いるので、全児童におおむね支援していると理解している。無償化するには、相当な財源確保が必要であり、財源確保が得られなければ難しいと考えている。

### 3 国民健康保険事業について

論点	収入のない子供にも均等割として保険料が課されている。子供の均等割を廃止したらどうか。
回答	制度上の制約があること、保険料の減収に係る財源上の課題があることから、現状では困難と考える。

### 4 加齢性難聴者の補聴器購入に助成したらどうか

論点	加齢性難聴は、75歳以上になると7割が発症すると言われ、日常生活に支障を来している。補聴器は認知症施策としても有効である。
回答	公費負担が大きいので慎重に研究していく。山口県の市長会議を通じて国に要望はしている。

## 5 地球温暖化対策について

論点	「新プラ」法が施行され、国は、新たにプラスチック回収に取り組めば財政措置を講じている。分別回収の取組をしたらどうか。
回答	市民に負担を掛けることにもなるので、他市の事例や国内外の動向を参考にしながら、最善の方法を研究していきたいと考えている。また、市民にプラスチックごみの分別回収やリサイクルによる資源化の重要性を理解してもらうため、広報やホームページ、各種SNSなどへ最新の情報や事例を発信することにより、市民意識の高揚や行動変容を促し、カーボンニュートラル社会の実現に貢献したいと考えている。